

『創造都市を創造する』

17. 創造都市研究科 2006年度夏季キックオフシンポジウム（重点関連）

『クリエイターの聖地をつくる！』

【日時】2005年7月16日（土） 18時30分～21時

【会場】大阪駅前第2ビル6階・大阪市立大学文化交流センター大ホール（参加自由・参加料無料・事前予約不要）

【趣旨】大阪市北区は、大阪市内のクリエイター系産業の半数近くが集中する一大集積地です。大学院・創造都市研究科は、その北区に開学したのを契機として、関係機関と協力して、北区を活性化する「扇町創造村」構想を推進しております。構想の提唱者である塩沢教授を中心に、東京の渋谷や八丁堀などのベンチャーやクリエイターのまちの事例について専門家にも来て頂き、大阪のキーパーソンと熱く議論していただきます。創造都市研究科に関心のある方をお誘いの上、是非ご参加ください！

1) 「挨拶」(18:30～18:40) 佐々木雅幸教授・研究科長

2) 「扇町創造村構想の経緯と研究科の役割」(18:40～19:20)

塩沢由典教授・重点研究委員長

3) パネラーによる説明(19:20～20:00、各自8分程度でご説明いただきます)

「渋谷」宮城治男（NPO法人ETIC代表理事、元ビットバレーアソシエーション事務局長）

「八丁堀」石川保（セントラルイースト東京（GET）ディレクション、アトテーブル代表）

「扇町・デジタルときわ荘」鎌田優（プロジェクト・チーム・ドーガ代表、デジタルときわ荘計画の推進者）

「中津」西尾元成（ギャラリー・アートカクテル主宰、ミニFM局運営）

「老松町」千福寿子（ギャラリー・千スペースオーナー、西天満女性会会長、北区「わがまち会議」委員）

4) パネルディスカッション「大阪キタはクリエイターの聖地となり得るか？」(20:00～20:40)

コーディネーター 塩沢由典教授・重点研究委員長

大阪市立大学大学院 創造都市研究科

2006年度向け キック オフ シンポジウム

クリエイターの聖地をつくる!

日時 2005年7月16日(土) 18:30~21:00

会場 大阪駅前第2ビル6階
大阪市立大学文化交流センター 大ホール

大阪市北区は、大阪市内のクリエイター系産業の半数近くが集中する大集積地です。大学院・創造都市研究科は、その北区に開学したのを契機として、関係機関と協力して、北区を活性化する「扇町創造村」構想を推進しております。構想の提唱者である塩沢教授を中心に、東京の渋谷や八丁堀などのベンチャーやクリエイターのまちの事例について専門家にも来て頂き、大阪のキーパーソンと熱く議論していただきます。創造都市研究科に関心のある方をお誘いの上、是非、ご参加ください!(参加自由・参加料無料・事前予約不要)

プログラム

- 挨拶 (18:30~18:40)
佐々木雅幸教授・創造都市研究科長
- 「扇町創造村構想の経緯と研究科の役割」 (18:40~19:20)
塩沢由典教授
- パネルディスカッションー大阪キタは
クリエイターの聖地となり得るか
「渋谷」宮城治男
(NPO法人ETIC.代表理事、ビットバレーアソシエーション元事務局長)
「八丁堀」石川保
(セントラルイースト東京(CET)ディレクション、アトテーブル代表)
「扇町・デジタルときわ荘」鎌田優
(ドーガ代表、デジタルときわ荘計画推進者)
「中津」西尾元成
(ギャラリー・アートカクテル主宰、ミニFM局運営)
「老松町」千福寿子
(千スペース・オーナー、西天満女性会会長)
コーディネーター:塩沢由典教授
- パネラーからの説明 (19:20~20:00) の後、
討論 (20:00~20:40)
司会:小長谷一之教授
- 大学院説明 (20:40~21:00)
「創造都市研究科とは?」



Graduate School for Creative Cities
Osaka City University
大阪市立大学大学院
創造都市研究科

問い合わせ先

大阪市立大学大学院 創造都市研究科
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

TEL.06-6605-3508
FAX.06-6605-3488

ホームページアドレス
<http://www.gsc Osaka-cu.ac.jp/>

Kick off Symposium

『クリエイターの聖地をつくる!』



日時 2005年7月16日(土) 18:30~21:00
会場 大阪市立大学文化交流センター 大ホール(大阪駅前第2ビル6階)



塩沢 由典(大阪市立大学大学院・創造都市研究科教授・重点委員会委員長)

専門は、理論経済学。1985年から複雑系の経済学を提唱、制度進化や経済の発展過程の研究に複雑系の視点を導入した。現在、進化経済学会会長、人工市場研究グループ・Mart代表、関西ベンチャー学会会長。大阪・関西の活性化に向けて、ベンチャー・研究開発・情報発信・頭脳機能などに関し多様な提言を行なっている。大阪市北区を創造都市としてプロモートする「扇町創造村」(仮称)構想に取り組んでいる。



宮城 治男(NPO法人ETIC代表理事、ビットバレーアソシエーション元事務局長)

1972年生まれ。早稲田大学在学中の1993年、学生起業家の全国ネットワーク「ETIC.学生アントレプレナー連絡会議」を創設。2000年には特定非営利活動法人化。次世代の起業家、リーダーの輩出へ向けて、大学生のキャリアデザイン支援事業やベンチャー企業、NPO等へのインターンシップ事業、大学等と連携してのカリキュラム改革等に取組む他、NPO法人キャリアナビを通して中高生のキャリア教育改革に挑む。02年より日本初の「ソーシャルベンチャービジネスプランコンペティション」を開催するなど、社会的課題に事業でチャレンジする社会起業家の育成にも注力する。



石川 保(セントラルイースト東京(CET) ディレクション/at-table 代表取締役)

1976年沖縄県生まれ。早稲田大学大学院建築学修了。修了後、東京都中央区で有志数名と建築・都市再生組織「有限会社アテーブル」を設立。以後、東京東側の旧オフィス街を拠点に、建築リノベーション企画・設計・運営を主軸とし、様々なクリエイターやアーティストとの共同による新しいコミュニティモデルづくりを展開する。後に<CENTRAL EAST TOKYO>へと発展するその活動が、衰退へと向う旧市街の文化・経済活性化の起爆剤となることを目指す。



鎌田 優(プロジェクト・チーム・ドーガ代表、デジタルときわ荘計画推進者)

《パーソナルユースのCGアニメーション簡易作成ソフト》の開発という、珍しい分野を開拓。大阪大学工学部在学中1985年に、阪大コンピュータクラブ、京大マイコンクラブを母体に1985年CGアニメの振興を目的とした大学発ベンチャープロジェクト「PROJECT TEAM DoGA」を設立、以後代表を務める。1987年松下電器産業入社、コンピュータ事業部、メディア研究所等勤務を経て、1989年「CGアニメコンテスト」を創設し、1993年株式会社ドーガを設立。代表取締役に就任。1999年CGアニメ作家ネットワーク設立。以後事務局代表を務める。2002年「東京国際アニメフェア」で審査委員、2005年大阪市・府などの支援するコンテンツ産業育成プロジェクト「デジタルときわ荘」計画の中心メンバーとして活躍。



西尾元成(ギャラリー・アートカクテル主宰、株式会社日本エム・エス・アイ/MSI JAPAN 専務取締役)

1977年神戸学院大学卒。1979年コンサート音響会社として(株)MOB設立。1993年USAメリーランドサウンドと資本提携、(株)日本エムエスアイ(MSI JAPAN)に社名変更。(主なアーティスト:ポルノグラフィティ、中島美嘉、ケミストリー、エアロスミス、ホール&オーツ、レディオヘッドetc)。2003年10月50歳を期に大阪市北区中津にLive Space Vi-code (N.A-code(株))をオープン。2004年5月第1回中津まつり開催(実行委員長)。6月MSI Hong Kong Co.,LTD、日本MSI上海代表所を設立。2005年3月北区中津にアートギャラリーARTCOCKTAILをオープン。インディーズで活躍する若手ミュージシャンや、幅広いジャンルのアーティストを中津に集結し、表現の場を提案。見て・聞いて、感動と楽しさを与える芸術発信基地として、日々情報を提供している(中津商店街と中津ナーステーション共同制作、ミニFM、ネットTV、ラジオ開局、地域情報などを配信)。



千福 壽々子(ギャラリー・千スペース経営、西天満女性会会長、北区「未来 わがまち会議」委員)

1928年兵庫県生まれ。神戸薬学専門学校卒業後、薬局を営む、1951年大阪市北区老松町三丁目に入籍、現在も同じ場所に住居、四丁目6番14号で薬品関係を経営。2000年よりギャラリー・千スペースを経営。大阪では珍しい古美術の集積地として知られる老松町を、アートストリートとして活性化するため、ギャラリーを始める。特に天神の落語小屋計画に合わせて、かつて天神の表参道であった老松通りの活性化を目指している。